

(財)新田塚医療福祉センター 福井総合病院



所在地：福井県福井市江上町58-16-1
延床面積：約25,000m²
構造・規模：鉄骨造、地上7階建
設計・監理：(株)東畑建築設計事務所
(株)釣谷建築事務所
施工：建築／石田建設工業(株)
電気／橋本電気(株)北陸支店
完成：平成21年3月

入院診療、時間外診療、救急外来を主体として、新築移転した福井総合病院。
照明は間接光や拡散光・遮光角制御器具を多用し、高齢者にも優しい光環境を確保。

入院診療部門と救急外来を主体として 新築移転し、地域医療を支援

福井市新田塚にあった福井総合病院は、駐車場が手狭であったことや、外来診療が混雑していたことなどから同市江上町へ新築移転。効率的な救急検査部門の配置による救急医療の充実化をはじめ、人と物の動線を考慮した機能的なバイオフィームの手術室、早期リハビリ展開の医療を受けられるセンター化した病棟、それに静かな入院環境のもと、心のこもった患者中心の医療サービスが提供されています。

患者には安らぎのある優しい明かり、スタッフにはグレアレスの働きやすい光環境

エントランスホールは、外光をふんだんに取り入れた2階吹抜けの明るい空間となっており、照明は自然光とのバランスを配慮して150Wセラミックメタルハライドランプ(ネオセラ)電動昇降装置付ダウンライトを採用し、天井意匠と一体のスリットライン内に配置しています。会計待合室および歯科・口腔外科待合室は、折上げ天井に間接照明を施して開放感を高め、平天井面にはFHT32Wダウンライトを設置して安らぎのある光環境としています。

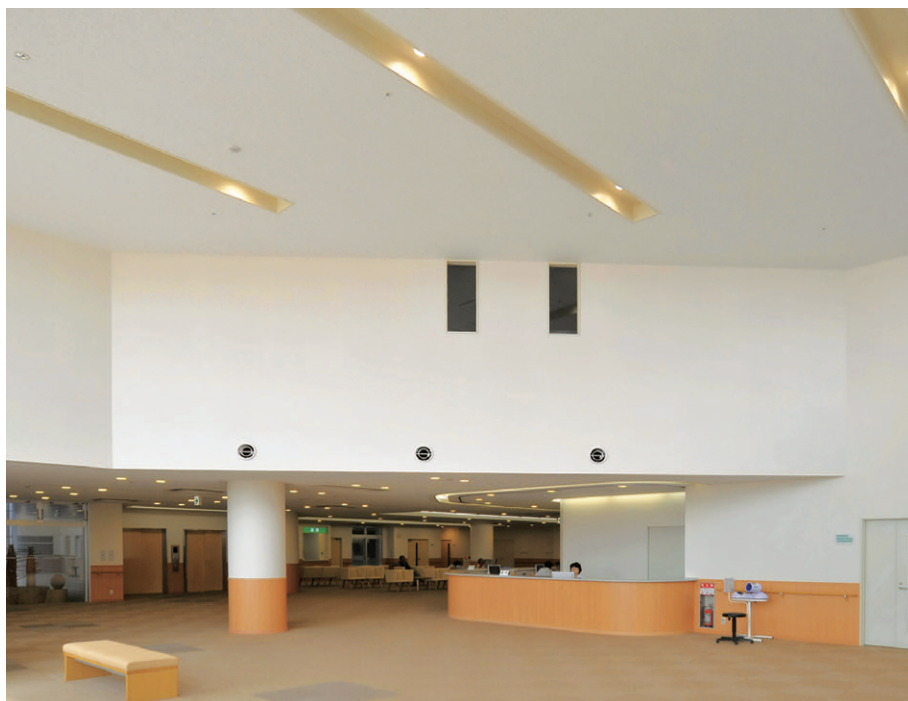
その奥に導かれる各診療の外待合室・廊下の照明は、ドア上部壁面にコーニス建築化照明を施し、柔らかな光で不安感を和らげリラクゼーションできる雰囲気をつくり出しています。

各診療室の照明は、昼白色の遮光角制御形埋込器具を採用し、患者の顔色を自然に見せつつ、眩しさを緩和しています。

救急処置室の照明は、FHF32W×2灯用埋込カバー付器具を採用し、无影灯を挟むように両側から配置。医療環境に最適な明るさが確保できるようにしています。

エコー室などの検査部門の照明は、FHF32W×2灯用埋込カバー付器具を採用し、ベッド上に配置した照明においては25%~100%の連続調光とし、患者が上向きになった際の眩しさをカットしています。

病室の照明は、ベースに温白色の丸形シーリングライト(FCL32W+FCL40W)を、ベッド上には間接照明・読書灯・常夜灯一体形タイプを採用し、安らぎ感を演出しています。



エントランスホールの照明 2階吹抜けの開放感豊かな空間を150Wネオセラダウンライトにより照明



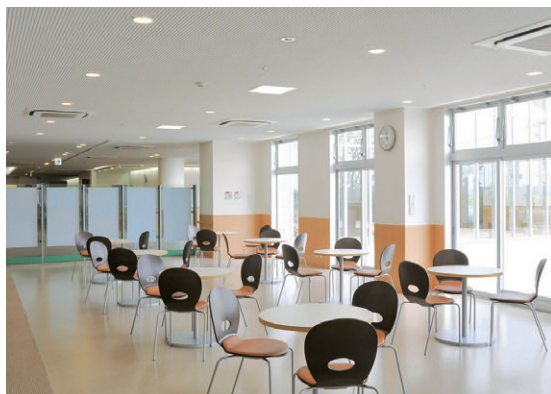
折上げ天井に間接照明を施した会計窓口周りの待合室の照明



歯科・口腔外科・薬局科待合室の照明



各科1階診療室外待合室の照明



1階ラウンジの照明 FHT24Wダウンライトを中心にくつろぎ感を演出



遮光角制御器具採用の診療室(歯科)の照明



救急処置室の照明 FHF32W×2灯用埋込カバー付器具を無影灯の両側に配置。医療環境に最適な明るさを確保



CT室の照明 遮光角制御タイプの薄形直付器具を採用



エコー室の照明 FHF32W×2灯用埋込カバー付器具を採用。
ベッド上は調光形 (25~100%) を使用



リハビリテーションセンターの照明 FHF32W×2灯用薄形直付器具を均等配置



病室の照明 ベースには丸形のシーリングライト、ベッド灯は間接照明・読書灯・常夜灯一体形タイプを採用

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
病室	FHP45W直付ホスピタルブラケット	FHT-51801-EL	386	45Wコンパクト形蛍光灯ランプ 20WFL蛍光灯ランプ
ラウンジ	FHT24Wダウンライト白色反射板	FHD-31507-PM9	601	24Wコンパクト形蛍光灯ランプ
ロビー	FHT32Wダウンライト白色反射板	FHD-31507-PM9	435	32Wコンパクト形蛍光灯ランプ
	FHF32W笠なし器具	FHT-41007N-PM9	381	32WHf蛍光灯ランプ
吹抜け	150Wネオセラダウンライト 深形	DD-15131K-PN9	9	150Wセラミックメタルハライドランプ
廊下	FHF32W逆富士器具	FHT-41307N-PM9	233	32WHf蛍光灯ランプ
食堂	FHP32W埋込バッフル	FHR-34311-PR9	98	32Wコンパクト形蛍光灯ランプ×4